

Dr. 山下の

## 調子はいかが？

町立病院 ☎42局1231番

町立病院スタッフ  
からの健康  
アドバイスです



鞍手町立病院に新しく入ったCT装置は、どういった検査ができるのですか？（55歳・男性）

### 【抜群の診断精度】

虚血性心疾患が疑われる患者さんが受診した場合におこなわれるのが冠動脈造影検査です。通常は入院を必要とし、手や足の動脈を通してカテーテルを挿入していく検査です。

町立病院では、10月より新しいCT装置が導入され、CTによる冠動脈造影検査（CTCA）が可能となり、冠動脈の異常を、入院することなく、外来検査のみで検出可能となりました。診断精度は感度94%、特異度97%、陰性的中率99%極めて高い数字が報告されており、冠動脈疾患の診断に従来の冠動脈造影の代替検査としての役割が期待されています。

### 【CTCAの適応及び特徴】

しかし、誰にでも検査が用いられるわけではありません。

CTCAの特徴を理解した上で適応を考える必要があります。長所としては、一つ目に、

体に負担をかけない非侵襲的であること。二つ目は、感度が良く、陰性的中率（検査で陰性ならば疾患でない可能性）が高い。三つ目は、入院の必要がない。四つ目は、従来の冠動脈造影検査に比べ、費用があまりかからない。五つ目は、危険性は通常の造影CTと同じなどです。

逆に欠点としては、心拍の安定が必要で、判読が困難だったりすると診断できない場合もあります。また、造影剤が必要で、その他にもペースメーカー、植え込み型除細動器の植え込み術後の方は検査が無理となり、特に造影剤を使用するにあたり、腎機能障害を有する人や造影剤アレルギーのある人は注意が必要で

す。また、被曝の問題があり、通常の冠動脈造影検査よりも多いため個人の状態を把握し、慎重に検査を行っていただきます。

図1は、CTCAの画像です。非常に鮮明に写っており、冠動脈の狭窄の有無がわかります。ステント留置後の再評価のために検査を行ったのですが、ステント内は再狭窄のないことがわかります。

【基本は早期発見・早期治療】  
医療技術は、より体に負担をかけない方向へ発展していきます。前述のとおり、誰にでもCTCAが適用となるわけではありません。しかし、低侵襲の検査ということ、患者さんにとって精神的にも肉体的にも経済的にも負担の少ない検査であることは確実です。病院で検査をするといつても、必ずしも体に負担を強いるものだけではないのです。病気が早期発見・早期治療が原則です。胸の調子に違和感を持ったら、ぜひ循環器内科外来の受診をおすすめします。



図1. CTCAで撮影した画像

最新のCT装置により、入院することなく、外来検査のみで冠動脈の異常を検出することが可能な検査です。

### 【アドバイザー】



山下和仁さん・やましたかずひと・平成2年産業医科大学医学部を卒業後、九州労災病院、岩手労災病院などを経てマイアミ大学に留学。帰国後は、産業医科大学病院などを経て、平成20年6月から鞍手町立病院循環器内科に勤務。46歳。

11月号から引き続きの調子はいかが？です、さらに専門的に説明をします。



## 今月新しく入りました。

### ●一般の本

／なぎさホテル (作=伊集院 静) / マスカレード・ホテル (作=東野圭吾) / 天頂より少し下って (作=川上弘美) / 警官の条件 (作=佐々木 譲) / 介護退職 (作=楡 周平) / まつるひとびと (作=中島かずき)

### ●子どもの本

／見習い警察犬 きな子-圭太の物語 (作=ひろはたえりこ) / コクリコ坂から (作=宮崎吾朗ほか) / ゴインキョとチーズどろぼう (作=エミリー・ロッド) / くだものさん (作=ツペラ ツペラ) / ころころ にゃーん (作=長 新太) / うさこちゃんまほうをつかう (作=ディック・ブルーナ) / おはなししましよう (作=谷川俊太郎) / ありんこのアリー (作=みやにしたつや)

## 中でもこの本が **オススメ** です。

### 謙信の軍配者

作=富樫倫太郎



曾我冬之助は新たに宇佐美姓を名乗り、若き長尾景虎(上杉謙信)の軍配者となる。しかし実際に戦況を支配していたのは「毘沙門天の化身」景虎その人だった。常識外れの発想で勝ち続ける天才・景勝に、足利学校の兵法は通用するのか? 冬之助の旧友・山本勘助が率いる武田軍との攻防が続く。「早雲の軍配者」「信玄の軍配者」に続く三部作完結。

### がたびしくん

作=たしろちさと



がたびしくんは、町で一番古いバスです。バスの仕事が大好きです。「がたびし ぶるる、ぶんたた ぶるる」今日も町の人をのせて、元気に走ります。長い間、一生懸命走り続けていた「がたびしくん」でしたが、とうとう動けなくなってしまいました。



### おんなのるつぽ

作=群 ようこ

書店で「ちよ娘さん、おしりが半分見えてます!」という文字が目につきました。読み始めたところ、私のようなおばさんが、外出先などで見かけ、「えっ」と思っていることが書いてあるではないですか。全体がユーモア

**書** 店「ちよ娘さん、おしりが半分見えてます!」という文字が目につきました。読み始めたところ、私のようなおばさんが、外出先などで見かけ、「えっ」と思っていることが書いてあるではないですか。全体がユーモア



### うみがめのたび

作=きたがわさちひこ

先日、福岡市で8年ぶりにアカウミガメの孵化が確認されたとの報道がありました。岡垣町でもウミガメの保護に取り組んでいます。古い本ですが、海に親しむ夏の時期にある本の読み聞かせで取り入れています。題

名のとおりウミガメの一生を描いた本です。身近なようでなかなか目にする事のないウミガメを通して、野生のすばらしさ・すごさを教えられました。

春の桜、夏の海、秋の紅葉、冬の雪…。美しい四季が体感できるのは日本人の特権。そんな私たちがだからこそ、読みたくなる「旬」の本があります。シリーズ「旬の本だな」。12月は「観る」をテーマに2冊の本をご紹介します。紹介者は石橋洋美さん(いずみ読書会)です。

